



(発行)

*働きやすい職場をめざす
 (連絡先) 日立武蔵の会
 *東村山市恩多町3-11-18 谷口利男
 *電話・FAX ; 042-394-0937
 *E-Mail; hitachikon@jcom.home.ne.jp
 *要望・意見を気軽にお寄せ下さい。

理解が得られた回答か

三菱電機との半導体事業統合問題で半導体業種本部は、12月5日の第5回拡大労使協議で「事業統合を了解」とする最終的な考えを明らかにしました。

今回の事業統合の申入れ以降「真の経営体質強化策」「安心して働ける職場」「労働条件への影響」の解明に向けて交渉を行なって来ました。

本当に資金は大丈夫なのか

資本金500億円に決めた理由に「同業他社等の資本金等を考慮した」

とし、参考にNECエレクトロニクスの資本金も500億円と紹介していますが、同社と比較しても、売上げ規模で28%増の642億円、人員規模では13%増で566億円となり、ルネサスの方が資金不足になる可能性が当初から発生しています。発足時の資本金は設備投資などでの重要な役割をもっています。

エルピーダ増資 総額960億円に

NECと日立は、折半出資するDRAM事業統合会社「エルピーダメモリ」に合計440億円を追加出資する。

エルピーダの現在の資本金は445億円、資本準備金は75億円と総額520億円。同社は99年12月の発足以降赤字が続いており、段階的に追加出資に応じてきた。

今回の増資により、資本金は665億円、資本準備金は295億円と総額960億円になる。

(11月17日付「日経」新聞より)

親会社責任を明確にした発足を

11月21日「日経」報道によると、「年間設備投資額を約1000億円との方針を決め、その投資資金はルネサスが発足時の手元資金と営業収益で賄う」としています。

業界では「資金力不足が浮上を阻害する懸念もある」とも指摘されている中で、ルネサスの投資資金捻出について明確に確認をする必要があると考へます。従って、半導体事業を切り離す責任親会社にたいして、発足時の投資資金の確保をしつかりと保証させることを求める必要があります。

設備投資資金を営業損益で賄う方針は当然と考へますが、03年度事業の黒字スタートをまず確保させる見通しを明確にしないから実施すべき施策ではないでしょうか。

集積回路

日立労組も加盟している「連合」は、11月19日開催した第39回中央委員会で03年春闘での統一ベースアップ要求断念を正式に決定した。賃上げ目標は定期昇給分に当たる「賃金カーブ確保」のみとし、具体的な要求基準は各産別労組に委ねる、とした。一方で、国税庁が発表した昨年一年間の「民間給与実態統計調査」では、前年比1.5%減の454万円と4年連続で減少し、かつ過去最大の落ち込みを記録したことも明らかになった。おそらく、今年度は、春闘での定期昇給の凍結や賃金カット、一時金の大幅減額などがあり、さらに大幅減収となる事は明らかである。日立の場合、賃金5%カット、一時金年間1カ月減収(20%減)であり、年収で見ると10%近い減収となっている。こうした状況を受けた03年春闘は、勤労者の所得を増やして国民の購買力向上での景気回復が必要となっている。03年春闘でベアゼロ春闘を克服する取り組みが強く求められているのではないだろうか。

(T)

電機の産業空洞化させないために

電機労働者懇談会（電機懇）は11月30日、都内で「職場代表者会議」を開催し、03年春闘に向けて「要求アンケート」活動や電機産業を空洞化させないための取り組みを行なうことを決めました。

海外生産比率が22%も

空洞化の現状

日本の製造業は生産の海外移転を加速し、仕事量が減ったことによる中小零細企業の倒産も急増しています。

01年度の電機産業にお

ける海外生産比率は22%と全産業の中で最大となっています。雇用労働者は00年3月から02年3月までの2年間で10数万人も減少してきています。

まさに「物作り」日本の危機といえる状況です。

具体的課題

電機懇は、電機産業での空洞化を防ぐために次の諸点が重要と提言をしています。

- 「解雇規制法」を法制化する。
- 「海外進出規制法」を制定する
- 「企業撤廃税」を創設する。
- 円高を是正する。

企業に新しい雇用促進を呼びかける。国による技術開発事業を民主化する。

日立DPの分社化後 事業の継続検討とは

日立は今年10月1日に液晶表示装置事業（旧茂原工場）を全額出資子会社として分社、日立ディスプレイズを設立した。

報道では「米内社長は技術力を生かしたニッチ（すき間）市場で生き残りを目指す。ただ、日立本体首脳の一人は『LCDは技術力による商品特性の差異が出しにくく、1 2年以内に(事業を継続するかどうか)答えを出す必要がある』と語る。日立ディスプレイズが早期に収益構造を確立しなければ、進路は変わってくるだろう」と指摘されています。（11月27日「日経産業」

電機懇は、こうした課題を全国の電機の職場で取り組みを強めるとともに、労働組合のナショナルセンターへ申し入れて運動を強めて行くことや、経済産業省などへの行政にたいしても改善の申し入れ、交渉を行なうなど具体的な取り組みの準備をしています。

電機懇・要求アンケートの項目

- あなたの生活実感は
- 春闘で賃上げはどのくらい必要ですか
- あなたにとって職場の問題点（不安や不満）は何ですか？
- サービス残業がありますか
- くらしの要求や問題点は何ですか？
- 自由記入欄

日立は、今年の春の年間協定で4カ月と決まり、昨年度の年間5カ月と比較すると、金額で19・52%減収となっています。

冬のボーナス全体で5.16%減 日立は19.52%の大幅減

日本経済新聞は、集計可能な324社の加重平均で算出した12月のボーナス調査の中間集計を11月26日付けで報道しました。

集計結果によると、業種間格差が鮮明に表れ、電機と鉄鋼は2ケタの減少率となり、好調な自動車や精密機械などは前年冬の支給額を上回った、としています。

電機産業の集計は36社であり、平均減収率は14・69%と全産業でのトップとなった。

安心して働き続けられる職場を 半導体事業の統合による職場の不安をなくせ

東京母親大会に参加して 本当の豊かさとは

先ごろ東京母親大会開かれ「プラスチックごみと生ごみを考える」の分科会に参加し、とても勉強になりました。

10年前からゴミ減量と、リサイクルを進める会として活動してきた経験や、ダイオキシン、環境ホルモンの学習会、生ゴミの堆肥に取り組んでいる体験談など様々な発言がありました。「燃えるゴミと燃えないゴミを分別しているが、硬いものは砕いて燃えやすくするために分けているだけで、結局は塩ビ以外は燃やしてから埋めており、何のために可燃ゴミと不燃ゴミを分けさせているのか」と怒っている人もいました。

容器の再利用では、肉、魚が入っているトレーを回収しているものの、再利用にコストがかかるため再利用は三割程で残りは廃棄しているとの事でした。

さらに「ペットボトルを処理するためには1本につき50円かかり、使い捨ての便利さが優先され、業者はちゃんと処理が出来る容器を作ることが大切。使い捨ての容器やスプーンなどは処理費を事業者が負担しなくて済むこともゴミを出す大きな要因となっている。国内で毎年5000万トンの一般ゴミが排出され、約2兆5000億円の税金で処理されている。事業者は大量のゴミを家庭ゴミの処理システムに便乗しているのも問題である」などの話を聞いて本当の豊かさとは何かを考えさせられました。(清水)

「人事考課制度」の 講演会に参加して

日本の人事査定(考課)についての講演を聞く機会を得たので紹介します。講演のポイントについて遠藤公嗣教授(明治大学経営学部、経済学博士)は「人事考課制度には労働者側にとった規制が必要であり、そのもっとも重要な点は、最終の考課結果を労働者が知る権利の確保、それに、考課結果についての労働者の不満・不満足を解決する仕組みの設定である」と指摘しました。講演で、日本の民間企業の職能給は、経済のグローバル化・IT化のもとでの企業経営に不適合と考えられるようになった97〜98年頃衰退し、短期間で高収益をあげた対価を支払うとした成果主義賃金の導入を進めてきた。

しかし、多くの仕事では収益に影響する要因は多様であり、多数の従業員が関係し、一人に還元できない要素もあり、01年度春頃からその行き詰まりや見直し

が報道されるようになってきたと分析されました。

同教授は世界的な人事考課制度を研究した著書「日本の人事査定」(ミネルブア書房99年)でもふれている米国内での査定制度を次のように紹介しました。

日本ではほとんどの場合、査定結果の公表はされず秘密裏に処理されているが、アメリカでは査定結果をめぐっての裁判が頻発し、査定結果に対する「同意書」を全員から取る制度になっていると紹介されました。(谷口)

休憩室

収益V字回復

リストラで

V字回復

|| 大企業 ||

リストラでL字どころか

下がる一方

|| 庶民 ||

職場だより

三菱電機との 労働条件の開示を

三菱電機の労働条件の開示を求めた事に対して「事業統合後の課題である」旨の回答がありました。組合の姿勢として問題であると考えます。なぜなら、今回は半導体事業統合の賛否を問う議論をしている時期に、相手会社の労働条件の開示な

たそがれ清兵衛

山田洋次監督の「たそがれ清兵衛」がヒットしているとテレビで報道されています。当初40～50才の男性の観客が多かったそうですが、最近では若い女性の人気も高いと言われています。

山田洋次フアンの私は、11月に立川シネマシティへ観にいきました。時代劇であるが今日のサラリーマンの状況と重なり訴えるものを感じました。「たそがれ」とは、病弱の母と子供たちの養育のために（奥さんは早く死去）、お城での仕事が終わると同僚の誘いを断ってまっすぐ帰宅することから言われている事だそうです。（Y）

しに検討が出来ないのには明らかではないでしょう。労働条件の公表は一回行なわれましたが、未だに家族手当、住宅手当、業務手当、裁量勤務手当、交代勤務手当などについての公表が行なわれていません。（T）

10%分返金は 大変良かった

昨年12月に実施された一時金の平均10%減額が返金になるとの回答でホッとした。でも、月々の賃

金カット5%はそのまま続いているのだから、まだまだ家計が苦しくお正月も一段と質素に過ごさなければならぬ状況となっている。（I）

賃金5%カットも 早急に解除を

03年3月の決算予想を見ると電機各社は、日立と同じような業績見通しなのに定期昇給の凍結などを解除している。日立でも「緊急業績対策」を早急に解除するための労使協議を始めてもらいたい。賃金5%カットの解除は皆の願いだ。（K）

自転車通勤にも 通勤手当の支給を

事故発生によって、自転車通勤している人にたいして「雨の日に傘をさしての入門禁止」ということになった。自転車通勤の人には交通費が支

絵手紙で挨拶

給されていないので、雨の時も自転車に乗らざるをえない状況がある。交通費を支給するように制度を改善して、雨の時はバスや電車を使えるように願いたい。（H）

編集後記

武蔵事業所で働く皆さんに届ける「むさしNet」を発行してから丸二年を迎えました。この間、この職場新聞に寄せられた声に感謝いたします。皆さんの賢明なる判断の一助になり得たでしょうか。今年一年のご支援に感謝し、良い年を迎えられるように奮闘して行きます。（M）